

# 包括的公表

2022年10月～2023年3月に報告された医療事故のうち、再発防止策が定まった包括的公表となる事例は下記の通りです。

No	発生場所	概 略	再発防止策
1	手術室	全身麻酔下での手術中に <sup>※1</sup> バッキングが発生し、手術が一時中断した。 <sup>※2</sup> 筋弛緩薬の静脈注射を試みるが実施できなかった。点滴ルートを確認すると <sup>※3</sup> マジックベッドと <sup>※4</sup> 離被架に挟まれていたため閉塞していた。	・点滴の滴下確認時に、点滴ルートの絡みや刺入部の確認を行う。
2	病棟	人工呼吸器管理中の患児の気管切開カニューレ内で、喀痰が詰まりかけ酸素化不良となった。	・ <sup>※5</sup> RRS 要請基準に該当した場合は、RRS 要請または近くの医師へ報告する。 ・ <sup>※6</sup> SpO2 アラームの設定値が、 <sup>※7</sup> PEWS に合わせた酸素投与開始ラインであることの理解を深める。
3	病棟	<sup>※8</sup> CPAP 装着患児の哺乳中に <sup>※6</sup> SpO2 が低下した。	・ <sup>※9</sup> 喉頭軟化症疾患の理解と呼吸器導入時の患児への対応についての勉強会を開催する。 ・CPAP 装着時の授乳と、患児の容態が変化した際の <sup>※5</sup> RRS 要請について理解を深める。
4	病棟	左前腕の末梢静脈から <sup>※10</sup> ガベキサートを投与したが、血管外漏出し、静脈炎・皮膚損傷を来した。	・血管外漏出により皮膚障害を起こす薬剤について理解を深める。 ・点滴は、刺入部から点滴ルート滴下まで確認する。刺入部の皮膚に変化があれば、直ちに点滴を中止し医師へ報告する。
5	ICU	<sup>※11</sup> PCI 治療中に血圧低下したため、 <sup>※12</sup> ノルアドレナリンを末梢静脈から投与し、血管外漏出による皮膚壊死を認めた。	・血管外漏出により皮膚障害を起こす薬剤について理解を深める。 ・高濃度のノルアドレナリン等を使用する際は、 <sup>※13</sup> PICC や <sup>※14</sup> CV で留置を行う。 ・血管外漏出した時の対処法について理解を深める。

No	発生場所	概 略	再発防止策
6	検査室	乳腺腫瘍針生検検体のパラフィン置換処理中に、機械トラブルが発生したため再生検を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカーにより、パラフィン内ヘキシレン混入の不具合を確認したため、代替品の納入を行った。</li> <li>・臨床検査技師は、キシレン混入の有無を定期的に確認する。</li> </ul>
7	GCU	気管切開部のガーゼ交換時に気管切開カニューレが逸脱した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手順書の「気切患者の管理」へ、新生児・小児の注意点を記載する。</li> <li>・小児病棟内で使用している「気管切開カニューレが挿入されているときの注意点」の見直しを行う。</li> <li>・継続的な教育計画を立案し、年に2回の気切患者に関する学習とシミュレーションの機会を設ける。</li> </ul>
8	内視鏡センター	内視鏡検査施行後に、呼吸状態が悪化した。 <sup>※15</sup> COPD の既往を確認し、緊急入院となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡検査前の問診で、全ての患者に<sup>※6</sup>SpO<sub>2</sub>の測定を実施する。</li> <li>・紹介状の既往歴等を医師と共に確認する。</li> </ul>
9	手術室	患肢の消毒で左下肢を挙上時に、左大腿骨を骨折した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患肢の把持の方法を工夫する。</li> <li>・下肢の挙上を愛護的に行い、安全な手術施行に努める。</li> </ul>

※1 バッキング → 患者が大きく咳き込んだことにより、人工呼吸器の送気が自発呼吸と合わず不同調になること

※2 筋弛緩薬 → 腹筋や横隔膜の動きを抑えて手術を円滑に行うために使用する薬

※3 マジックベッド → 術中に患者を固定するためのベッド

※4 離被架 → 患部を保護するためのアーチ状の架台

※5 RRS → 院内迅速対応システム

※6 SpO<sub>2</sub> → 酸素飽和度

※7 PEWS → 小児早期警告スコア

※8 CPAP → 持続陽圧呼吸療法で使用する装置

※9 喉頭軟化症 → 喉頭の組織が柔らかく弱いため、気管閉塞し喘鳴を引き起こす疾患

※10 ガベキサート → 蛋白分解酵素阻害剤

※11 PCI 治療 → 経皮的冠動脈形成術(狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患を対象とする治療)

※12 ノルアドレナリン → 血管収縮薬

※13 PICC → 末梢挿入型中心静脈カテーテル(腕から挿入する中心静脈カテーテル)

※14 CV → 中心静脈カテーテル

※13 COPD → 慢性閉塞性肺疾患